

事業所名		ゆうゆうらいふアカデミー両国					支援プログラム（参考様式）					作成日		7	年	3	月	1	日
法人（事業所）理念		一人ひとりの個性（えがお）が未来に繋がる																	
支援方針		子ども達、ご家族様を中心に手を取り合い「一人ひとりの未来の成長」を支援する。 どのような状況でもチャレンジする事ができるよう、人への信頼感を持ち、自己肯定感を育みます。																	
営業時間		平日 土・祝日	11 10	時	0 30	分から	17 17	時	30 00	分まで	送迎実施の有無			あり					
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	① 健康状態の維持・改善：到着時の検温や視診、また活動中も常に観察を行い健康状態や心身の異変の把握に務める。 ② 生活リズムや生活習慣の形成：必要に合わせた定時での排泄指導・口腔機能向上の為に飲水・おやつを利用した摂食への援助等の実施。 ③ 基本的な生活スキルの獲得：ADLや身辺整理などの指導を実際の場面で実施。特性に配慮した視覚支援・環境の構造化																	
	運動・感覚	① 正しい姿勢と運動・動作の向上：感覚あそびを通して周囲の環境に合わせた姿勢、運動ができるよう支援を実施。また、そのための基礎となる柔軟な体作りのためのストレッチ等をプログラムに追加 ②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用：よりよい姿勢での活動が行えるよう、必要に応じて座位保持装置、バギーなども使用。 ③保有する感覚の総合的な活用：5感2覚が統合されるよう運動あそびや個別での課題（認知、言語、社会性等）を提供する。																	
	認知・行動	① 認知の発達と行動の習得：マッチング課題、構成課題、触覚遊び等様々な課題を通して、認知機能の発達を促す。 ② 空間・時間・数等の概念形成の取得：発達段階に応じた数や時計、時間の課題を提示。 ③ 空間や外部環境の適切な認知と適切な行動の取得：スケジュールの視覚化や環境の構造化を取り入れて誰にでも分かりやすい活動空間を意識して行動へと繋げていく。																	
	言語 コミュニケーション	① 言語形成と活用：季節の歌や絵本の読み聞かせを通じて、様々な言葉に触れる機会を提供します。 ② 言語の受容及び表出：言語によるコミュニケーションに加えて絵カードでの指さしやジェスチャーなども含めた非言語コミュニケーションも活用する。 ③ コミュニケーションの基礎的能力の向上を目指し、基礎となる注目・追視・動作模倣・共同注視等を促す。																	
	人間関係 社会性	① 他者との関わり（人間関係）の形成：ふれあい遊びや手遊び歌、指導員や他児を含めた場での自由遊びを通して、人の動きを模倣することを促す。 ② 自己の理解と行動の調整：必要な時に行動の振り返りを行う事で自己理解を促す。 ③ 仲間づくりと集団への参加：小集団での活動を通し、ルールの理解や適切な振る舞いを学べるように支援する。																	
家族支援		・事業所内で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に活かしていきます。・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築していく。 ・兄弟児との関係も考慮し、兄弟時と親御様との時間も保てるよう配慮する。									移行支援			・就学に向けての情報提供や支援を行います。 ・具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や情報共有を行います。					
地域支援・地域連携		・併用先福祉サービス事業所等と連絡を取り、情報を共有していきます。 ・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用していきます。 ・日常的な連携に加え、普段と異なる活動の関わりについて具体的なかかわり方のモデルを示す。									職員の質の向上			・外部研修も取り入れ、年に2回以上研修を実施し、子どもの特性に応じた対応など、職員の資質の向上に努めていきます。 ・法人、事業所の運営に積極的に関わりキャリア形成を推奨しています。					
主な行事等		・季節のイベント（夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分等）ゲーム・工作・調理などの実施する。 ・外出イベント（協力企業様との）就業体験や農園でのブドウ狩りなど（親子参加）																	